



# 市民のひろば

## 掲示板

### ◆小学生ソフトテニス教室

【日程】  
第1クール 5月13日(日)  
20日(日)・27日(日)  
第2クール 6月3日(日)  
10日(日)・17日(日)

【時間】9時～12時

【場所】宝町テニスコート

【参加費】無料

【対象者】  
第1クール 香長小・山田小・繁藤小・大栃小

### ◆第3回 香美市長杯

【日時】5月10日(木)

【場所】土佐山田ゴルフ倶楽部

【料金】キャディ付(1万円)、セルフ(8千円)

※昼食・ワンドリンク付き。別途コンペ参加料金として3千円をいただきます。

【罰金】池ポチャ・OB各200円(上限千円)

※社会福祉協議会へ寄付



(山田高校マンガ部)

## まちの声

犬やネコは心をいやしてくれますが、マナーを守らない人たちのせいで、動物も飼いにくくなりました。

◇ ◇ ◇

本当にネコのフンに困っています。野良ネコにエサを与えていることが分

## 編集後記

▼今月号の表紙は、なかな保育園の園児の皆さんにご協力いただきました。市民の皆さまの協力により作られた市民憲章。この子たちの未来を明るく照らしてくれるでしょう。(細木)

▼いよいよ新年度がスタートしました。市長の施政方針にあった学力向上等教育の充実を追い風にして、我が家の三兄弟には、勉強をもっともっとならばってもらいたいものです。(公文)



▲物部川をはさみ神母ノ木を望む

明治時代は、物部川の水運が最も盛んで、大小いくつかの料亭があった。有名な料亭には、“松月”“円月”“宮地”“夜明”があり、現在も住宅として残っている。この中でも松月は大きく、敷地約600㎡、仲居13人、芸者5人、板前3人、屋形船3隻を持ち、収容人員約100人というから田舎の料亭でも一流であった。



なお、神母ノ木の村名は、文化年間(1804頃)が初見である。(香美史談会)

## 香美史探訪記

### 第34回 神母ノ木の隆盛

物部川の水運は、藩政時代初期1660年代、山田堰と舟入川が完成されて大きく変化を生じたと考えられる。

寛政年間(1789年頃)には、舟入川で高知への通行が可能となり、底の浅い平舵舟(川舟)で、20石(約3トン)の年貢米を乗せ、神母ノ木に集めて船団にして高知へ送り、帰路には本山や豊永、物部川上流部への生活物資を持ち帰った。

材木は、神母ノ木で集め、舟入川へは筏で流した。物部川の上流へは曳綱で遡行させていたので水運関連産業には多くの人手を要し、神母ノ木の荷揚場もあって、にぎわった。ヒノキやスギの種苗の生産も県下一であった。

片地の鍛造業は農林業用刃物から発展し、鋸の生産量は県下一と言われ、各地の資料館にあるものは、ほとんどが片地印となっている。

さらに、船谷では製瓦業も盛んで、藩政時代後期からお城下や京都藩邸などに送られ、明治時代には瓦業が32軒もあった。

藩政時代末期に香北町太郎丸の郷土史家竹内重意が、神母ノ木渡場の図を残しており、材木売さばき所・古道具屋・船乗場・茶店・飲み屋などが見られる。

## ただいま留学中

郭小伟 (中国河南省鄭州市)

私は、河南省鄭州から来ました。鄭州大学では物理学を専攻し、昨年修士を卒業しました。今は高知工科大学で知能機械を勉強しています。博士1年です。

私はバスケットボールと卓球が大好きで、趣味は読書と音楽を聴くことです。私是一見、内向的に見えるかもしれませんが、実は明るくて、つきあいがよく、いろいろなことを大勢で楽しむのが好きです。

高知の気候は鄭州より、温暖です。同僚と友達のおかげで、私は高知の生活と研究環境に早く慣れることができました。高知はきれいで、静かです。空気はとても良く、学習するのに適した場所です。交通も便利にも行きます。私はこちらに来てから、日本語を勉強し始めましたので、私は日本語がまだそんなに上手ではありません。

私の高知工科大学での研究は材料です。世界で最も先進的な科学の一つです。私の先生はこの領域のとても有名な教授で、私たちはよく討論します。私はこの領域の研究に従事することができて嬉しいです。研究を楽しんでいます。

中国と日本の文化に対して、とても興味を持っています。両国の友好的な歴史をひもとくと、とても長い年月があります。帰国したら、皆さんの友好と私の見聞を友達に伝えたいです。

香美市の皆さん、よろしくお願います。皆さんの健康と仕事など万事順調にいきますようにと祈っています。

